

岩村忍 イハムラニ 東洋史學者、文學博士。明治二十八年九月二十一日、北海道小樽生れ、昭和六十二年六月一日歿（一九五二）。大正十五年カナダのオタワ大學卒。新聞聯合社、文部省民族研究所等を経て、昭和二十五年京都大學人文科學研究所教授。二十九年京大中央アジア調査でチルニ文書（蒙古古語ペルシヤ語對譯解書寫本）を發見した。日本エソングル學會會長。

譯著書に、エツァール・シヤゲンヌ著「史記著作考」（司馬遷史記譯註序）（譯、昭和十四年五月五日文求堂書店「支那學總譯叢書」）、
『十二世紀東亞史序說』（昭和十四年九月十日三省堂）、『支那關係歐米名著略解』（編、昭和十五年五月十日タイムス出版社）、『蒙古の歐洲遠征』（昭和十六年十一月二十五日三省堂）、『イスラム（イスラム民族の社會）』（昭和二十二年五月五日雄山閣「歴史新書」）、
『アメリカの新アジア觀』（合著・中國研究所編、昭和二十二年五月二十五日潮流社）、『砂漠の探検』（昭和二十六年四月二十日筑摩書房「中學生全集」）、『マルコ・ポーロ』（昭和二十六年八月十五日岩波書店「岩波新書」）、ヘディン著『中央アジア探検記』（譯、昭和二十八年九月二十日創元社「創元文庫」）、『アフガニスタン紀行』（昭和二十九年九月十日朝日新聞社）、『日本人はどれだけの事をしこぎたか』（昭和三十一年八月二十日新潮社「新編・日本少國民文庫」）、ザンブリイ著『中央アジアの冒険』（訳、昭和二十七年十月二十五日よみ書房）、



『大朝秘史―チンギスハーン実録』(昭和二十八年六月二十五日中央
公論社「中公新書」)、 『暗殺者教国―中央アジアを震撼したある回
教国の歴史』(昭和二十九年七月二十日筑摩書房「グリーンベルト・
シリーズ」)、 スウエン・ヘグディン著 『まよえる湖』(訳、昭和四
十二年二月二十日角川書店「角川文庫」)、 『東洋史の散歩』(昭和四
十五年十一月二十日新潮社「新潮選書」)、 エドゥアール・シヤヅ
ヤンヌ著 『司馬遷と中説』(訳、昭和四十九年十一月十日新潮社「新
潮選書」)、 『東洋史のおもしろさ』(昭和五十一年十月二十五日新
潮社「新潮選書」)等。